

平成27年度青葉小だより

第14号

★青葉小学校の目標!

ときをまもり・ばをきよめ・れいをただす
時を守り・場を清め・礼を正す

北九州市若松区青葉台西3-1-1
北九州市立青葉小学校 TEL 741-5511
H. 27. 12. 8 文責 校長 田中 理章

いよいよ12月! 2学期のまとめの時期となりました!

早いもので今年も残すところ20日あまりとなり、まさに師走!先生方も子どもたちも2学期の学習のまとめに必死に取り組んでいます。また、今月に入り急に寒い日が続くようになってきました。11月が暖かい日が多かったため、この寒さのため体調を崩している子どもたちも多くなってきました。更に、若松区内の小学校でもインフルエンザによる欠席者が増えてきています。くれぐれも体調管理をよろしくお願いいたします。まずは、「手洗い・うがい・早寝・栄養のある食事」に気をつけながら子どもたちが健康に過ごせるようにご家庭でもご協力をお願い申し上げます。来週は個人懇談会を予定しています。このような機会を通して、お子様の学習状況、学校での様子、更にはご家庭での様子など詳しくお話しできることを担任一同楽しみにしていますので、よろしく申し上げます。

5年生が若松区球技大会に出場しました。

12月4日の金曜日に本校で若松区の球技大会が行われました。本校は高須小・江川小と対戦し、男女ともに大差で勝利することができ優勝しました。約1ヶ月、早朝練習を積み重ねてきた成果が、当初はドリブルが苦手でしたが、試合では見事なドリブルを見せてくれました。地道な努力のたまに、本日の試合でも大活躍しました。日々の練習が、この瞬間に繋がりました。来年は、さらなる成長を期して、来年の大会でも活躍できるように頑張りたいと思います。

6年生が国際交流に取り組みました!

12月2日の水曜日に6年生が国際交流に取り組みました。ひびきにある大学で学んでいる18名の留学生と楽しく交流し、思い深い貴重な体験をしました。今年も「日本文化を留学生に伝えよう」を合い言葉に、事前に学んだ柔道・折り紙・着付け・茶道・生け花・琴・水墨画を留学生に伝えました。講師の先生方の力を借りながら、手振りや日本文化を伝えることができました。留学生も感動し、日本の文化を体験し、交流が深まりました。私も英語で挨拶をしましたが、あまり伝わっていませんでした。子どもたちにとっても素晴らしい1日となりました。



ハナミズキの実はどうして赤いの? はたしてその答えは?

先月の学校通信にドングリとハナミズキの実の違いについて書きました。ドングリと違ってハナミズキは鳥たちに食べて欲しくあえて実を赤くしています。その理由は、ハナミズキ等の赤や黄色の実は二層構造になっていることが多いのです。果肉と呼ばれる周りの部分と種子と呼ばれる堅い部分です。周りの果肉と呼ばれる部分は鳥などの小動物が好んで食べるようにやや甘みなどがあるものが多いと言われています。鳥たちにこの部分を食べてもらい、硬い種子の部分は消化されずに鳥の糞と一緒に体から排出されるのです。鳥たちの糞と一緒に排出された種子が色々な場所で芽を出すというわけです。また、鳥の糞は芽を出すときの栄養として活用されることも多く発芽率を高めています。他にも動物の毛に種子を運んでもらう植物、受粉を昆虫や風を利用する植物等々、我々動物のように自由に動くことが出来ない植物の生きていくための知恵なのです。植物の知恵に脱帽! 次回のお話は?

